



平成20(2008)年1月25日(木)発行

発行者 小浜市多田2-2 中山クリニック 院長 中山茂樹

http://www.nakayama clinic.jp

特集

院長 若狭東高校で講演

院長は精力的に近隣の学校や事業所に行き、正しい性の知識についての講演を行っています。児童生徒さんの場合は年々替わるので今や各校とも年中行事のように院長に講演の依頼があります。この10月23日は若狭東高校で行いました。その感想文が届きましたので抜粋して掲載します。

〈男子〉

・あらためて性行為による感染症の多さやその怖さが分かりました。映像を見たり、話を聴いて決して他人事ではないと思いました。自分が性行為をする時にはしっかり予防行動をとって感染を防ぐようにしたいです。この講演を聴いてとてもよかったです。相手に迷惑をかけるような事は必ずしないようにしたい。

・性行為をする際、それがもしかしたら一つの生を作ることになるかもしれないと先に思わなければいけないと思いました。生を授かったとして今の自分たちで育てていけるかそれが無理なら中絶することになる。それは一つの命を殺すことになる。それを事前に考えないといけないのだ。

・まだ子供だし、関係ないと思っていたけど、「14歳の母」というタイトルのドラマがあったり、授業としてこんな講演会があったりするの大人だけの問題じゃないんだなと思いました。女性だったら性行為による感染なんかで子宮を取ってしまい一生子供が産めなくなったりするのでふざけてするものではないし、出会い系サイトなどの利用もしないほうがいいとおっしゃっていてすごく説得力がありました。代表的なエイズのことも詳しく教えていただいてとても嬉しかったです。

・今の高校生の時期、自分のためだけでなく、相手の事を考えてどうしなければいけないかを考えなければいけないことが分かりました。この時期にセックスをする事は絶対にしてはいけないと肝に銘じておくことにしました。

・興味本位で性行為をしてはいけないと思いました。男性と女性の関係は性行為だけでなく愛情や相手を尊重し互いに平等な関係でないといけないと分かりました。妊娠したと気づいたときにはもう2ヶ月経っていることが分かりました。8週間過ぎると手術が出来なくなることも分かりました。

・性行為をして病気になることは中学の時習って知っていたけれどこんなに沢山の病気があることは知りませんでしたし

た。正直、自分は今日の4限目の講演を聴くまでは性行為のことを甘く見ていたしそんな関係ないと考えていました。性行為をするときにはお互い意見をはっきりいうことが大切で、特に男の方に責任があることだと分かりました。

〈女子〉

・男はするだけで気持ちいいかも知れないけれど、女は妊娠の可能性があるので、男の人はもっと考えるべきです。女の方も嫌ならいやとしっかりと断る事が必要なんだと思いました。

・性のことについて話したりするのはとても恥ずかしいことだと思っていたけれど、ちゃんとした知識を持つことが大切なのだと思った。不安なことや分からないことがあったら恥ずかしがらないで、誰かに聞く、または話し合うことが必要なのです。

・一回間違っただけでお腹に命が宿ってしまったり、性病に感染してしまう、それでは遅いのです。中絶なども簡単に考えてはいけなし、女性は肉体的にも精神的にもすごくダメージを受けるのだと思いました。

・東京では5人に1の子が性病を経験しているというのが信じられませんでした。本当に自分は感染したくないと思いました。避妊は絶対しなければならなし、相手が避妊したくないと言ってもちゃんと言える勇気が必要だと思いました。本当に好きな人と幸せになりたいです。子供を産むのは正直こわいけれど早く子供が欲しいです。

... ..

↓若狭東高校での院長の講演

〈あとがき〉



- 1) 例年のインフルエンザ予防接種が始まりました。2100円/1人です。打っておいて良かったという話を毎年よく聴きます。転ばぬ先の杖で、お勧めします。
- 2) 当院待合室のミニギャラリーの「携帯電話のカメラで撮った写真からスケッチ画を創作」をご覧ください。岡拓司(ひろし)氏の作品です。

ティータイム 次の漢字は何と読みますか。
頻繁 踏襲 詳細 措置
未曾有 有無
日本の宰相が読めませんでした。